

# 施策評価シート（平成25年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	4-1	政策名	地域主体のまちづくり	政策の 目指す姿	個性あふれる地域づくりが活 発に行われています	施策 主管課	地域づくり課	施策主管 課長名	久保田 留美子
	施策No.	1	施策名	地域づくりへの参 加促進	施策の 目指す姿	老若男女多くの住民が地域 づくりに参加しています	関係課名	生涯学習交流課		
	現状と課題	<p>・自治会やPTA、老人クラブ、交通安全団体など多くの団体が地域づくり活動に取り組んでいますが、近年、人々の価値観やライフスタイルの多様化が見られる中、地域の一体感や相互扶助意識の希薄化による地域づくり活動の停滞が懸念されています。</p> <p>・少子高齢化や人口減少の中、地域課題や市民ニーズがより多様化、複雑化してきており、これらをすべて行政で対応することは困難な状況となっています。それぞれの地域の特性や課題に応じて、地域住民が自主的、主体的に住みよいまちづくりに取り組むことが重要となっています。</p> <p>・地域コミュニティの維持のためには、「家庭」という最小のコミュニティの形成が重要ですが、未婚者の増加や晩婚化の進行により、地域活動の基本単位となる「家庭」の数は減少しています。</p> <p>・地域づくり活動の拠点となる施設の老朽化や耐震化対策に対し、地域から改修等の要望が寄せられています。</p>								

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1)地域づくり活動への参加促進に向けた意識づくり

- 市民憲章運動の促進
  - ・花巻市市民憲章推進協議会活動支援
- 地域づくりへの参加意識の啓発
  - ・大迫、石鳥谷、東和地域における地域協議会および花巻地域における地域自治推進委員会の開催
- 地域交流事業の開催
  - ・(仮称)山の駅・昭和の学校整備事業による旧前田小学校の校庭を一部舗装 ・地域元気フェスティバルスポーツ交流大会の開催

(2)身近な地域コミュニティの活動支援

- 地域づくり活動拠点施設の整備
  - ・振興センター等整備事業(花北振興センター:外溝工事、解体工事)(湯本振興センター:駐車場用地取得)(谷内振興センター:基本設計業務委託、体育館耐震診断)(花南振興センター等9振興センター:耐震診断)
- 地縁団体への支援
  - ・各行政区に対する地区運営交付金の交付
  - ・(財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業による支援(郷土芸能団体備品および公民館備品)
- 自治公民館の整備改修支援
  - ・自治公民館整備事業

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
振興センター利用人数	地域活動の拠点施設としている振興センターに、どれくらいの人が集まり、活動したかを測る指標として設定する。地域づくりの拠点施設である振興センターを活用して、個性あふれる活動が活発に行われていることを示す指標	27振興センターの利用人数を集計する。	人	目標値				300,000	300,000	300,000
				実績値	287,656	297,452	276,072			
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
	<p>・成果指標の「振興センター利用人数」については、H23は震災の影響でH22に比べ減少したものの、H24にはH22より増加した。しかし、H25には、H24に比べ20,000人ほど減少し、震災があったH23よりも少ない人数の利用者となっている。これは、花北振興センターがH25に改築されたことに伴い、それまで振興センターに併設されていた体育室がなくなったこと大きく要因するものと考えられる。</p>

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	貢献度の判断理由
	事業内容(実績)			
1	振興センター等整備事業	地域づくり課	A	振興センターそれぞれに建築後の経過年数もかなり経過していることから、計画的に建て替えや修繕を行うことは、地域づくりの活動拠点施設を充実することとなる。
	花北振興センター(外溝工事、解体工事)湯本振興センター(駐車場用地取得)谷内振興センター(基本設計業務委託、体育館耐震診断)花南振興センター等9振興センター(耐震診断調査業務委託)			
2	地域協議会・地域自治推進委員会運営事業	地域づくり課	B	住民意見を市政運営に反映するとともに、地域課題の検討を通じて解決に向けた活動が活発化し、市政への参画意識が高まることに有効であるが、諮問のみならず、地域課題に対する議論がさらに必要である。
	地域協議会の開催:大迫4回(諮問等3回、自主開催1回)石鳥谷6回(諮問等2回、自主開催4回)東和5回 地域自治推進委員会の開催:3回			
3	地区行政推進事業	地域づくり課	A	行政からの情報を円滑に市民に伝達する手法として、広報紙等の配布は有効な手段である。また、行政に対する意見のとりまとめがスムーズに行われるためには、行政区長の職務である行政とのパイプ役を確実に遂行することが重要であることから、その職務のスムーズな遂行に対して研修会等は有効な手法である。
	・区長会議、研修会の開催(4回) ・行政区長に対し、広報等印刷物の配布依頼を行った(配布回数23回) ・各行政区に対し地区運営交付金の交付を行った(223行政区 73,150千円) ・市区長会に対する区長会運営交付金の交付(800千円)			
4	市民憲章推進事業	地域づくり課	A	市民憲章の唱和や運動への参画を通じて、まちづくりへの参画意識が高まることから、貢献度は大きい。
	花巻市民憲章の推進・普及啓発を行う。 ・花巻市市民憲章推進協議会活動支援(花巻市市民憲章推進協議会へ補助金300千円 会員数227人 推進大会参加者数200人)			
5	市民団体活動支援事業	地域づくり課	A	住民が自主的にコミュニティ活動を促進し、地域の連帯感に基づく自治組織を盛り上げることに有効である。
	(財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業による支援を行う。(郷土芸能団体備品整備3団体)			
6	自治公民館整備事業	生涯学習交流課	A	地域活動活性化のための環境が整えられた。
	自治公民館の新築および改修事業に対し、花巻市自治公民館整備事業補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。(19館 9,530千円)			
7	(仮称)山の駅・昭和の学校整備事業	地域づくり課	C	旧前田小学校の活用にあたり、地域と市が連携しながら、事業を実施したが、駐車場の整備は行ったものの昭和の学校の整備が遅れ開館できなかった。
	旧前田小学校を活用した昭和の学校花巻校を核とした山の駅利用者の利便性を向上し、地域の活性化、市の交流人口の増加を図る。 ・山の駅・昭和の学校駐車場整備(旧前田小学校校庭の一部を舗装。3,270㎡)			
8	地域コミュニティ推進事業	地域づくり課	A	27コミュニティ会議の参加により多くの市民が参加し、互いの交流を深めることに大きな成果がある。
	地域元気フェスティバルスポーツ交流大会の開催(27コミュニティ会議参加、およそ2,000人の参加)			

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

・地域協議会・自治推進委員会運営事業においては、さらに地域課題に対する市民の声が市政や地域自治に反映されるよう、協議の場に取り上げる必要がある。

(新たに取り組むべき事業はないか)

・地域の意見、特に若い世代の声がさらに市政へ反映されるような場を検討し、活性化を図ることが必要。

#### 6 施策の総合的な評価

(課題)

・老若男女多くの住民が地域づくりに参加している姿を目指しているが、特に若い方々が地域づくりに参加することができる支援と工夫が必要。  
・振興センターの利用人数は横ばい状況であるが、さらに多くの地域の方々が利用する機会の検討が必要。

(今後の方向性)

・振興センターの利用も含め、地域づくりに若い世代の方々が参加する場の構築を検討する。